

本科 9月18日(木)

### 第30回講座 里山の基礎論

講師 大野 啓一氏 (千葉県立中央博物館教育普及課長)

日時 9月18日(木) 10:00~12:00

場所 県立中央博物館 講堂及び生態園

#### テーマは、雑木林の本来の姿

里山で林の主体をなす雑木林(ぞうきばやし)について、その本来の姿やそこに生える草木種と管理との関係等に関する講座が大野啓一講師により行われた。はじめに徳富蘆花の随筆「自然と人生」の一編に描かれた明治期の雑木林が紹介され、かつては雑木林が農家の生活に様々な関与をしていたことや現在の雑木林の直面している問題点などについて解説された。

その後、博物館の「自然と人間のかかわり展示室」に続き、博物館に隣接した「生態園」を案内していただき、維持管理されている雑木林の名残を観察することもできた。

生活様式の変化と里山、雑木林の保全との関わりについて考えさせられる講座となった。



切り株からのひこばえでまた林が再生する萌芽更新と農家の生活とは深い関連が・



博物館の自然と人間のかかわり展示室ではかつての雑木林と農家の生活の様子を・



生態園の舟田池のまわりにはクヌギ、イヌシデ、コナラなどの雑木林の名残が残され、維持管理されていた。



雑木林やその周辺に生える植物について説明する大野啓一講師